

2025年度 《2025年4月入学》
大阪大学大学院基礎工学研究科
博士後期課程学生募集要項
〔社会人特別選抜を含む〕

2024年8月

大阪大学大学院基礎工学研究科

大阪大学基礎工学研究科 大学院係

〒560-8531 豊中市待兼山町1-3

Tel : 06-6850-6146 (直通)

E-Mail : ki-daigakuin@office.osaka-u.ac.jp

URL : <https://www.es.osaka-u.ac.jp/ja/>

1. 基礎工学研究科の学生受入方針（アドミッション・ポリシー）

【大阪大学アドミッション・ポリシー】

大阪大学は、教育目標に定める人材を育成するため、学部又は大学院（修士）の教育課程等における学修を通して、確かな基礎学力、専門分野における十分な知識及び主体的に学ぶ態度を身につけ、自ら課題を発見し探求しようとする意欲に溢れる人を受け入れます。

このような学生を適正に選抜するために、研究科・専攻等の募集単位ごとに、多様な選抜方法を実施します。

【基礎工学研究科アドミッション・ポリシー】

大阪大学のアドミッション・ポリシーのもとに、基礎工学研究科の理念である「科学と技術の融合による科学技術の根本的な開発、それにより人類の真の文化を創造する」ことに共感する、次のような資質、能力を持つ人を求めています。

<博士後期課程>

【求める人材像】

- （１）専門分野に関する修士相当の最先端かつ高度な専門性と技能を有する人
- （２）科学と技術を融合しつつ学際新領域を切り開くために必要な高度で幅広い学識を有し、社会・学問における課題について複眼的・俯瞰的な思考ができる人
- （３）異なる言語・文化・専門分野の相違を超えて、科学と技術の融合や複合学際領域開拓の観点から、社会・学問における本質的かつ複雑多様な課題を議論し交流できる高度な国際性を有する人

【入学選抜の基本方針】

上記の能力、資質を有する優秀な人材を国内外から多様な方法により選抜することを入試の基本方針に定めています。このために、一般選抜と社会人特別選抜を年２回実施するほか、留学生向けに英語特別プログラム選抜を年２回実施しています。

【具体的選抜方法と、資質・能力との関係】

一般選抜、社会人特別選抜、英語特別プログラム選抜では、口頭試問、および修士論文の概要・研究計画書・出身大学の成績証明書・英語能力の証明書類等の提出書類により、（１）～（３）の能力を総合的に評価します。

各研究科のアドミッション・ポリシーについては、大阪大学のホームページ(http://www.osaka-u.ac.jp/ja/admissions/faculty/admission_policy)に掲載しています。

2. 募集人員

専攻名	領域	募集人員	
物質創成	物性物理工学、機能物質化学、化学工学、未来物質	31人	計 70人
機能創成	非線形力学、機能デザイン、生体工学	15人	
システム創成	電子光科学、システム科学、数理科学、社会システム数理	24人	

志望領域を一つ選んで出願してください。

なお、各専攻・領域の研究内容については、本研究科のホームページを参照してください。

3. 出願資格

次の各号のいずれかに該当する者。

なお、出願時において官公庁、会社などに在職する者については特別選抜を行います。

- (1) 修士の学位又は専門職学位（学校教育法第 104 条第 1 項の規定に基づき学位規則（昭和 28 年 文部省令第 9 号）第 5 条の 2 に規定する専門職学位をいう。以下この号において同じ。）を有する者及び 2025 年 3 月 31 日までに取得見込みの者
- (2) 外国において、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び 2025 年 3 月 31 日までに授与見込みの者
- (3) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び 2025 年 3 月 31 日までに授与される見込みの者
- (4) 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び 2025 年 3 月 31 日までに授与される見込みの者
- (5) 国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者及び 2025 年 3 月 31 日までに授与される見込みの者
- (6) 外国の学校、第 4 号の指定を受けた教育施設又は国際連合大学の教育課程を履修し、大学院設置基準第 16 条の 2 に規定する試験及び審査に相当するものに合格し、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者
- (7) 文部科学大臣の指定した者（平成元年 9 月 1 日文部省告示第 118 号）
 - ①我が国の大学又は専門職大学を卒業し、大学、専門職大学、研究所等において、2 年以上研究に従事した者で、本研究科において、当該研究の成果等により、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者
 - ②外国において学校教育における 16 年の課程を修了した後、又は外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了した後、大学、専門職大学、研究所等において、2 年以上研究に従事した者で、本研究科において、当該研究の成果等により修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者
- (8) 本研究科が実施する個別の出願資格審査により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者で、2025 年 3 月 31 日までに 24 歳に達したもの

4. 出願資格事前審査等

出願資格(7)及び(8)に該当する者は、出願に先立ち 2024 年 12 月 6 日（金）までに下記書類を準備して志望専攻領域の領域主任に文書又は訪問により照会し、資格認定を受けておいてください。

（ただし、[社会人ナノ理工学特別コース]へ出願を希望する者については、大学院係に提出願います。）

事前審査の結果、出願資格を承認された者のみが出願できます。

○出願資格審査申請書類

- ・ 出願資格審査申請書（所定用紙）
- ・ 出願資格審査調書（所定用紙）
- ・ 研究業績概要
- ・ 最終学校の卒業及び成績証明書
- ・ 住所ラベル（事前審査用）

その他必要に応じて関連書類の提出を求めることがあります。

* 所定用紙等は本研究科のホームページ「入試・入学案内／大学院基礎工学研究科／入試情報

<学生募集要項>」に掲載の PDF ファイルのみの提供となります。各自にてダウンロードし、印刷

してご利用ください。なお、用紙は A4 サイズです。

5. 出願手続等

入学志願者は、下記の出願書類等を大学院係へ提出してください。

ただし、本学大学院研究科博士前期（修士）課程又は法科大学院の課程を 2025 年 3 月に修了見込みの者は検定料の納入を必要としません。

出願書類等	摘 要	備 考
入学願書	所定用紙（注 1）に所要事項を記入してください。	
受験票・ 受験票控	所定用紙（注 1）に写真を貼付し、所要事項を記入してください。	切り離さずに送付してください。
検定料 検 定 料 納 入 証 明 書	30,000 円 銀行窓口（ATM（現金自動預払機）・ゆうちょ銀行は不可） で所定の振込用紙（注 1）を用い、検定料に手数料を添えて、 振り込んでください。銀行からの出納印を受けた検定料納入 証明書を検定料納入証明書貼付用紙（所定用紙（注 1））に 貼付してください。なお、振込手数料は本人の負担です。 *銀行の出納印のない検定料納入証明書は無効とし、当該願書は受 理できません。 *国費外国人留学生の検定料の取扱いについては、大学院係へ問い 合せてください。 *大阪大学ホームページに記載している災害により被災した志願 者に対し、検定料免除の特別措置を講じます。 (https://www.osaka-u.ac.jp/ja/admissions/information) 詳しくは上述ホームページを確認してください。この場合の出 願については表紙に記載の大学院係に確認してください。	本学各研究科博士前期（修 士）課程又は法科大学院の 課程から引き続き博士後 期課程に入学する者は不 要
大学院修士課 程の修了(見込) 証明書（注 2）	出身大学長または研究科長が発行したもの。	本研究科博士前期課程か ら引き続き博士後期課程 に入学する者は不要
大学院修士課 程の成績証明 書（注 2）	出身大学長または研究科長が発行したもの。	本研究科博士前期課程か ら引き続き博士後期課程 に入学する者は不要
最終学校の卒 業及び成績証 明書（注 2）		出願資格(7)及び(8) によ り出願する者のみ提出
修士論文の概 要	修士論文の概要を 2,000 字程度にまとめ A4 判用紙で文書作 成ソフトにて作成してください。(他に既発表論文等があれば そのリストと別刷を添付してください。)(日本語または英語)	修士の学位を有する(修了 見込の者を含む)者のみ提 出
研究計画書	入学後に希望する研究の方向を、600 字程度にまとめ A4 判 用紙で文書作成ソフトにて作成してください。 (日本語または英語)	
出願資格の認 定印を受けた 出願資格審査 申請書、出願資 格審査調書	所定用紙（注 1）に学歴、職歴、学会及び社会における活動 等を記載してください。	出願資格(7)及び(8) によ り出願する者のみ提出 出願の際は出願資格の認 定印を受けたものを提出
研究業績概要	研究業績概要を 2,000 字程度にまとめ A4 判用紙で文書作成 ソフトにて作成してください。(既発表論文等があればその リストと別刷を添付してください。)(日本語または英語)	出願資格(7)及び(8) によ り出願する者のみ提出
英語能力の証 明書類	試験の種類、受験時期は問いません。「原本及びコピー」又 は「デジタル公式認定証を印刷したもの」を 1 部を提出して ください。(注 3)	
住所ラベル	所定の住所ラベル（注 1）すべてに宛先を明記し、そのうち の「受験票送付用」には郵便切手*110 円分、「合否判定結果 通知送付用」には郵便切手*490 円分を貼付してください。	*本研究科博士前期課程に 在学中の者で、大学院係窓 口での受取りを希望する 者は貼付不要で、氏名・志 望領域のみ記入すること。

出願資格 (6) を証明する 審査合格確認 (証明) 書類	出願資格 (6) での出願の者 ・出身大学長等が作成 (署名) したもので、下記の内容が記載されたもの 【様式例】 □□大学としては、本学の学生である◇◇◇◇氏は、「(審査名称)」に合格し、修士の学位を有する者と同等以上の学力を有する者であることを確認し、報告いたします。また、当該審査に関する以下の添付資料を同封します。 【添付資料の例】 ・当該審査の合格基準 ・当該審査の合格と当該大学における修士の学位の授与要件の関係を示す資料 ・当該審査に合格した者と当該大学に編入学した他の大学の修士の学位を有する者の当該大学における博士の学位を授与するプログラムにおける取扱いの関係を示す資料	
その他	①外国人については、上記書類等のほか、在留資格及び在留期間を明記した「在留カード」(両面) の写しを提出してください。ただし、法務大臣が日本での永住を認めた者については提出する必要はありません。 ②国費外国人留学生については、国費外国人留学生証明書が必要です。	本研究科博士前期課程から引き続き博士後期課程に入学する者は不要

(注 1) 所定用紙等は本研究科のホームページ「入試・入学案内／大学院基礎工学研究科／入試情報〈学生募集要項〉」に掲載の PDF ファイルのみの提供となります。各自にてダウンロードし、印刷してご利用ください。なお、用紙は A4 サイズです。

(注 2) ①入学願書等に記載する氏名と証明書に記載された氏名が改姓名等により異なる場合は、改姓名の事実を証明できる書類 (戸籍抄本等・コピーでも可) を添付してください。
②日本語・英語以外の証明書、文書、資料等には、日本語訳または英語訳を添付してください。

(注 3) 英語能力の証明書類については、出願書類受付の際に原本を提出した場合は、原本とコピーを照合の後、原本は返却します。郵送により申請された方については、原本は受験票等送付の際に同封して返却します。

※出願書類等が不備の場合は、入学願書を受理できない場合があります。

6. 願書受理期間

[持参の場合]

受付期間… 2025 年 1 月 6 日 (月) ～2025 年 1 月 10 日 (金)

受付時間… 平日の 9 : 30～11 : 30 及び 13 : 00～15 : 00

受付場所… 基礎工学研究科 A 棟 2 階 大学院係

[郵送による出願の場合] 郵送先：表紙に記載の大学院係宛

○ 2025 年 1 月 10 日 (金) **必着**で郵送してください。

○ 必ず**書留郵便**とし、封筒の表に「**博士後期課程入学願書**」と**朱書き**してください。

受理期限後に到着したものは受理しません。ただし、1 月 8 日 (水) 以前の発信局 (日本国内) 消印のある**書留速達郵便**に限り、期限後に到着した場合でも受理します。

7. 入学者選抜方法

- (1) 入学者の選抜は、各志望領域において、①口頭試問、②修士学位論文又は研究業績概要等、③出身大学院 (大学) の学業成績等を総合して行います。
- (2) 口頭試問は、主として修士学位論文又は研究業績概要と、研究計画書等を中心に行います。
- (3) 必要と認めた時は、筆答試験を行うことがあります。

8. 口頭試問の日時と場所

2025 年 1 月 17 日 (金) から 2 月 14 日 (金) の間に基礎工学研究科において行います。

出願者は、志望専攻領域の領域主任に 2025 年 1 月 15 日 (水) までに連絡して口頭試問の日時と場

所等についての指示を受けてください。

- * 領域主任の氏名・連絡先は研究科 HP<<https://www.es.osaka-u.ac.jp/ja/departments/index.html>>の専攻毎のページを参照してください。

9. 合格者発表

2025 年 2 月 20 日（木）16 : 00

発表方法 : 基礎工学研究科の掲示板で受験番号により発表するとともに、合格者には 2 月 21 日（金）に大学院係から合格通知書及び入学手続書類を郵送します。

10. 入学時に必要な経費

- (1) 入学料 282,000 円（予定）

ただし、2025 年 3 月に本学各研究科博士前期（修士）課程又は法科大学院の課程修了後、引き続き博士後期課程に入学する者については入学料を徴収しません。

- (2) 授業料 267,900 円（年額 535,800 円のうちの後期分）（予定）

- ・ 本学では、授業料の納入については、口座振替により取り扱われます。（詳細は入学手続案内文書送付の際に同封します。）

※ 入学料・授業料の金額は、変更される場合があります。

※ 在学中に授業料の改定が行われた場合には、改定時から新授業料が適用されます。

* 国費外国人留学生の入学料・授業料の取扱いについては、大学院係へ問い合わせてください。

11. 注意事項

- (1) 不測の事態が起こった場合、入学試験の日程や実施方法等を変更する場合があります。その場合は研究科のホームページでお知らせします。
- (2) 2025 年 3 月に本研究科博士前期課程修了見込み以外の者は、2024 年 12 月中旬までに志望専攻領域の領域主任あるいは研究希望の研究室に、受入れの可能性等について相談すること。
- (3) 出願手続後は、書類記載事項の変更は認めません。
- (4) 受理した出願書類及び検定料は返還しません。ただし、検定料を振り込んだが出願しなかった場合、誤って二重に検定料を振り込んだ場合等については、所定の返還願（用紙は大学院係あて請求）により願出してください。
- (5) 受験票は、2025 年 1 月中旬に発送します。
- (6) 合格者に対する入学手続書類は、可否通知書と同時期に発送します（本研究科博士前期課程に在学中の者は大学院係窓口での配布を予定しています）。

なお、入学手続は、2025 年 3 月 6 日（木）、3 月 7 日（金）（予定）**【期限厳守】**に行ってください。

*** 所定期間内に入学手続を完了しない場合は、入学辞退者として取り扱います。**

- (7) 社会人で入学後も勤務を継続される場合、入学手続の際、勤務先の所属長又は上司による「就学承諾書」（様式随意）の提出が必要です。
- (8) 障がい等のある者で、受験及び修学に際して特別な配慮を必要とする者は、あらかじめ大学院係へ問い合わせてください。
- (9) 出願書類に虚偽の記載をした者は、入学許可後であっても入学許可を取り消すことがあります。
- (10) 修了見込みで出願した者で 2025 年 3 月 31 日までに出願資格を満たさない者は、入学許可を取り消します。

12. 個人情報の取扱いについて

- (1) 出願時に提出された氏名、住所、その他の個人情報については、「入学者選抜（出願処理、選抜試験実施）」、「合格者発表」及び「入学手続」等の入試業務を行うために利用します。

なお、入学者については、「教務関係（学籍管理、修学指導）」、「学生支援関係（健康管理、授業料免除、奨学金申請、就職支援等）」及び「授業料徴収に関する業務」を行うためにも利用します。

- (2) 入学者選抜に用いた試験成績等の個人情報は、入試結果の集計・分析及び入学者選抜方法の調査・研究のために利用します。
- (3) 上記の業務を行うにあたり、一部の業務を外部の業者に委託する場合があります。この場合、外部の事業者と個人情報の取り扱いが適切に行われるよう契約を結んだ上で、当該事業者に対して、提出された個人情報の全部または一部を提供します。

13. 優秀な博士後期課程入学生に対する入学金相当額補助制度について

基礎工学研究科では、研究科の将来構想である、「多世代高度学際融合人材育成」を推進するにあたり、優秀な博士後期課程入学生に対する入学金相当額補助制度を実施しています。

この入試はこの制度の対象となっており、入試に合格し、優秀と認められた者は、入学後に入学金相当額が補助されます。

(1) 対象者

博士後期課程の入学者（社会人及び他大学出身者）。ただし、留学生は除くものとする。

(2) 申請方法

入学願書の所定欄に、上記入学料免除制度の適用を希望する旨を明記し、入学試験出願時に「優秀な博士後期課程入学生に対する入学金相当額補助制度 申請書」を出願書類に併せて提出してください。結果については、後日、対象者あてに連絡します。

(3) その他

虚偽の記載をした者は、補助決定後であっても補助を取り消すことがあります。

14. 優秀な私費外国人留学生に対する授業料免除制度（特待留学生授業料免除制度）について

大阪大学では、研究力の強化と留学生の受入増進のために、大学院入学試験において優秀であると認められる私費外国人留学生に対する授業料免除制度（特待留学生授業料免除）を実施します。

この入試は特待留学生授業料免除の対象となっております。本入試に合格し、優秀と認められた留学生は本制度による授業料免除の候補者となります。希望者は、出願時に申し出てください。

詳細は、1月頃、対象者あてに連絡します。